

ガチャポンのプラケースで作る「目玉」

村田憲治@岐阜高校

3月の物理サークルの例会で鈴木 久先生が紹介してくれた「ガチャポンのプラケースで作る目玉」をマネして作ってみました。改良点は、倒立実像が映るプラケースの透明部分（網膜）に「くもりガラス仕上げスプレー」を吹きつけて「くもりプラスチック」仕様にしたことです。トレーシングペーパーを貼り付けるより、クオリティが上がった感じですよ。



ダイソーで売っている「ミニルーペ」を分解すると、プラスチックレンズが2枚手に入ります。使うのは1枚だけ。

プラケースの透明部分に「くもりガラス仕上げスプレー」を吹きつけて半透明な「網膜」にします。



プラケースに穴を空けてレンズをホットボンドで貼り付ける。

カラフルな不透明プラスチックの方は、つや消し黒スプレーで塗装しました。

ホームセンターでこんなスプレーを見つけました。シュッと吹き付けると、くもりガラス仕様になります。



手に持って、レンズを明るいほうへ向けると、「網膜」に倒立実像が映ります。牛の目玉がこれくらいの大きさだそうです。